

学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.5 平成28年9月30日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

08月23日(火) 長岡西病院 病院見学

夏休みも終わりに近づいた1日。早朝に学校を出発して高速道路経由で長岡西病院へ向かいました。



【施設の説明 看護師長の石村先生】



【ミャンマーからの仏様とビハーラ僧の森田先生】



【「ワークセンターのっぺ」にてカフェランチ】



【研修後にエントランスにて記念撮影】

- 8月23日(火) 当日のプログラム (8:20 学校出発・マイクロバス)
- 10:00 オリエンテーション・DVD視聴
 - 11:00 病棟視察 5階東(ビハーラ)病棟 ビハーラ僧・森田敬史先生
 - 12:00 「ワークセンターのっぺ」にてカフェランチ
 - 13:00 社会復帰事業所見学・施設長・丸山悌史先生
 - 13:40 在宅医療について・訪問看護ステーションみつごうや所長・丸山佳子先生
 - 14:20 講義「緩和ケアについて」・石村和美先生
 - 15:20 質疑応答
 - 15:50 記念撮影・お別れ (17:00 学校着)

●「ビハーラ」とは・・・

インドの教典に使われている言葉で「休養の場所」「僧院」を意味します。

●「ビハーラ病棟」とは・・・

厚生労働省から「緩和ケア病棟」としての承認を受けた病棟です。がんによる耐えられない痛みをできるだけ緩和し、自分らしい生活が送れるようお手伝いしています。医師・看護師だけでなく、介護福祉士や宗教者、ソーシャルワーカー、ボランティアなどさまざまな職種によるチームで取り組んでいます。季節を感じられる行事や、外出・外泊を楽しむことができます。

●「ビハーラの理念」とは・・・

- 1, 限りある生命の、その限りの短さを知らされた人が、静かに自身を見つめ、また見守られる場である。
- 2, 利用者本人の願いを軸に看取りと医療が行われる場である。そのために十分な医療行為が可能な医療機関に直結している必要がある。
- 3, 願われた生命の尊さに気づかされた人が集う、仏教を基礎とした小さな共同体である。
(ただし、利用者本人やその御家族がいかなる信仰をもたれていても自由である。)

「医療法人 崇徳会 長岡西病院 ビハーラ病棟」リーフレットより引用

【生徒の感想】

「時間は患者さんのもの」という言葉をお聞きして圧倒されました。患者さんが自分でトイレに行きたいと言ったら30分かかってサポートしたり、常に患者さんを中心に考えるのが、緩和ケア病棟の良いところだと思いました。事前学習を学校でしていきましたが、実際に見学してみると自分が想像していた雰囲気とは全く違っており、「家」と同じような感覚で過ごせる空間になっていました。タイヤの音が聞こえないように床がカーペット張りになっていたり、ボランティアさんの協力で、季節毎に廊下の写真や絵画が変えられたりとか、病棟すべてに工夫がたくさんあり、最期の時を迎える方にとって、本当に気持ちの良い場所だと思いました。今まで、医療専攻でたくさんの病院を見学してきましたが、長岡西病院が一番想像と違っていました。ビハーラ病棟の看護師さんのように、患者さんの心に寄り添っていけるような医療人を目指したいと思いました。(女子・助産師志望)

長岡西病院の見学を終えて、とても良いお話をたくさん聞くことができました。中でも印象に残っているお話は「自分がやられて良かったことを他の人にしてはいけない。」ということです。最初に聞いたときには、「どうして駄目なんだろう？」と不思議でした。しかし、石村先生の「自分が良かれと思って患者さんにしたことが、逆に患者さんのプライドを傷つけてしまった。」という失敗談をお聞きして、納得しました。こういう考え方は、今まで自分の中にありませんでした。これからは、「人間には価値観の違いがある。」ということを理解して、自分が相手にしようとしていることが、相手が本当に望んでいることなのかをしっかりと見きわめて、よく考えてから行動しようと思いました。(男子・看護師志望)

石村先生は毎日、患者さんとの会話をノートにとっていらっしゃるということに感動しました。また、御家族が患者さんの死を受け入れられるまで、死亡診断書を出さないことが、すごいと思いました。これを他の病院がやるのは難しいのかもしれませんが、医療人として、このような人に対する思いやりをもって働くことが必要だと思いました。緩和ケア病棟に入ったり、多くのお話をいろいろな職員の方から聞くことのできる機会はなかなかないので、良い体験になりました。(女子・看護師志望)

8月8日の信楽園病院1日看護師体験では、救急そして慢性期の患者様を「とにかく救う・延命させる」処置について学んできたばかりの12人ですが、同じ病院・医療機関でありながら多くの病院とはかなり異なるビハーラ病棟を見学したことで、「自分はどの分野のどのような看護師・医療職を目指すべきなのか。」ということを大いに考えたようです。

